

きつおん  
吃音

と

しゅわ  
手話

発行元

NPO 法人 全国言友会連絡協議会 社会的支援推進委員会

連絡先・お問い合わせ

NPO 法人 全国言友会連絡協議会

MAIL [info@zengenren.org](mailto:info@zengenren.org)

ホームページ <https://www.zengenren.org>



## 吃音のある人へ

### 多様なコミュニケーションが認められる社会へ

コミュニケーション手段は、決して声だけではありません。筆談、電子メモ帳、スマホでの文字入力、音声アプリ、ジェスチャーなど様々です。

「手話」も立派なコミュニケーション手段の一つです。私たちの中には、手話を使うことで気持ちが楽になり、自由に話すことができる人もいます。

#### <実際に手話を使っている人たちの声>

- 声で話さなければならないというプレッシャーが減った。
- 手話（指文字）を使うことで最初の音が出やすくなった。
- 音声言語へのこだわりから解放された。
- 聞こえない人たちと触れ合うことで人生観が変わった。

#### \*お願い\*

私たちが手話を使うのは、自分たちが話しやすいからであって、決して手話を強要するものではありません。手話を使いながら話す私たちを温かく見守ってくれると嬉しいです。

### 聞こえない人へのサービスが活用できるかも

聞こえない人に対してのサービスが、吃音のある人にも適用できる可能性があります。（電話リレーサービスやコンビニのコミュニケーションボードなど）

今後、私たちが声を挙げることで、これらのサービスが身近になるかもしれません。

## 聴覚に障害のある方へ

### 吃音のある人が手話と出会って感じたこと

- 声で話すことに困難を感じていたが、手話なら抵抗なく話せるようになった。
- 手話を通してろう者と触れ合うことで、音声言語へのこだわりから解放された。
- 聞こえない人に対するのサービスが、吃音のある人にも適用できる可能性があることを知った。

### 私たちの願い

- 吃音のある方も手話を使って話したい方がいることを知ってください。
- 吃音のある人の手話の技術をろう者のために活かせるように、手話通訳士（者）の実技試験における配慮を求めて活動をしています。

例：読み取り通訳試験での吃音症状に対する配慮

聞き取りのみの手話通訳資格の設定 など

- ろう者の皆さんと共に協力し、みんなが暮らしやすい社会の実現に向けて要望をしていきたいと願っています。

### ☆ミニ手話コーナー



ありがとう



こんにちは



お疲れさま

## 一般の方へ

### 吃音って何？

吃音とは「言葉が滑らかに出てこないこと」です。人によって症状が異なります。

#### <症状の例>

あ、あ、あした



連発

あ———した



伸発

・・・あした



難発

### 吃音のある人が知って欲しい困りごと

- 「緊張している」、「わざとだまっている」等、誤解をされやすい。
- 症状の程度に関わらず、生きづらさを感じる人がいる。
- 電話応対や発表する場面等で予期不安（失敗することを想像して、不安になる）が起きる。

このように吃音は表面的な症状のみに留まらず、当事者の生活全体に関わる大きな悩みとなっています。

上記のような困りごとを解決する手段の一つとして、音声の代わりに目で見て話す言語「手話」があります。